

かほだより

R5-10号
R5. 11.15

長野県伊那家畜保健衛生所

〒396-0026 伊那市西町 5764

Te l : 0265-72-2782. Fax : 0265-72-2765

E-mail : inakachiku@pref.nagano.lg.jp

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/inakachiku/>

伊那諏訪家畜産物衛生指導協会

Tel&Fax : 0265-76-8086

酪農生産性向上対策事業

令和5年度第2回バルク乳スクリーニング検査の集計結果をお知らせします

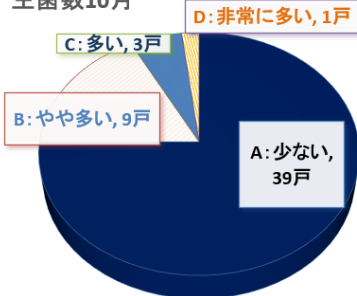
検査時期：令和5年10月～11月

検査戸数：51戸(上伊那地域36戸、諏訪地域15戸)

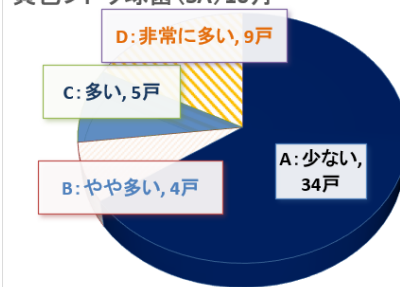
検査項目：生菌数、黄色ブドウ球菌、無乳性レンサ球菌、環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌、大腸菌群、耐熱性菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子検査

検査結果：

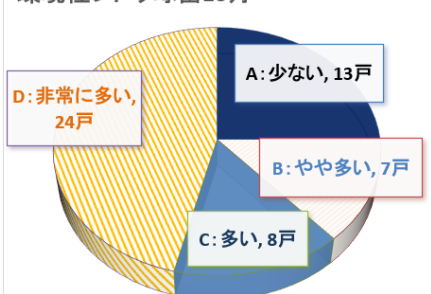
生菌数10月



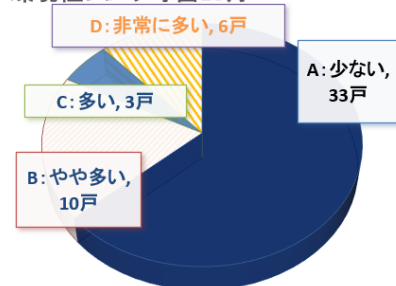
黄色ブドウ球菌(SA)10月



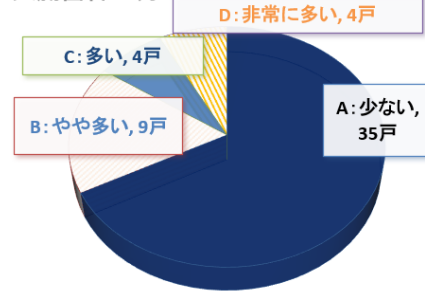
環境性ブドウ球菌10月



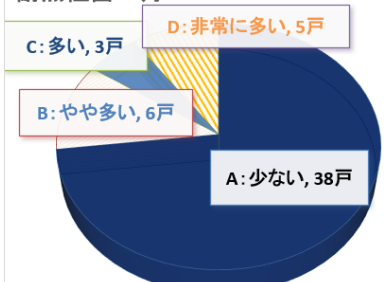
環境性レンサ球菌10月



大腸菌群10月



耐熱性菌10月



・無乳性レンサ球菌(SAG)、マイコプラズマ検査、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子検査は全ての農場で陰性でした。

黄色ブドウ球菌(SA)について

○今回の検査では、前回(6月)の検査時よりも、SA、大腸菌群で「少ない」の戸数が増加しました。

○約4割の農場でSAが検出されました。SAは伝染力が強く、治療が困難で、体細胞数を増加させる主因となります。

- 対策**
- ① 全頭の細菌検査による感染牛(感染分房)の特定
 - ② 当面の対応：搾乳順序を最後にする、並び替えをする、搾乳衛生の再確認など
 - ③ 乾乳期治療、SA感染牛の淘汰など

※ SA感染牛であっても、排菌していない時はSAが検出されない場合があります。体細胞数が高い牛は感染の疑いがありますので、注意してください。

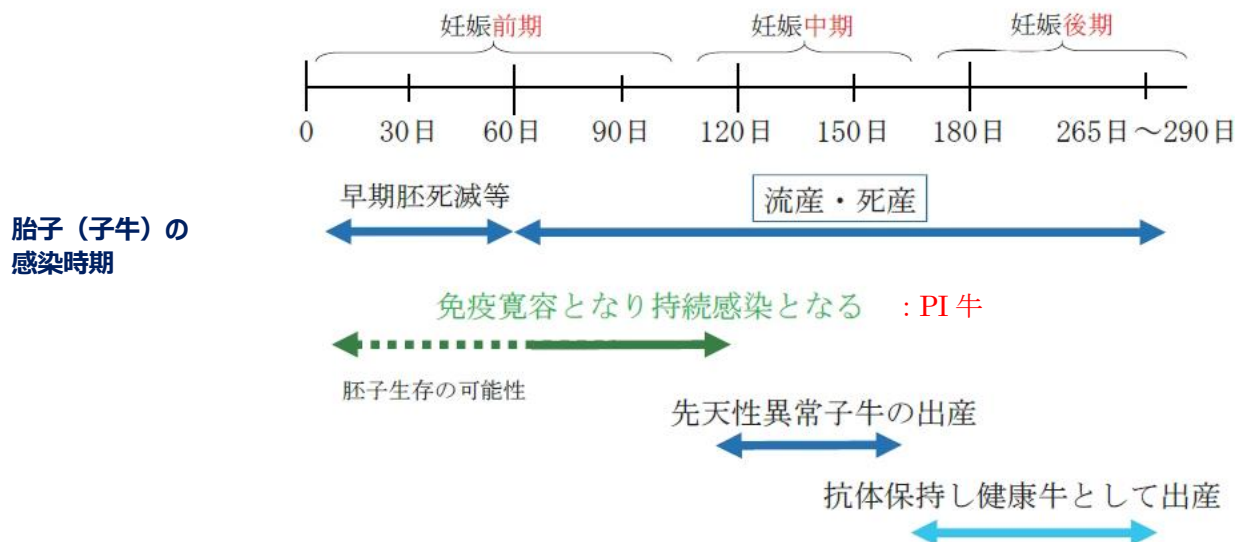
○全頭検査の希望、搾乳衛生・管理については伊那家畜保健衛生所へご相談ください

問い合わせ先：伊那家畜保健衛生所 保健衛生課 Tel:0265-72-2782

管内で BVD(牛ウイルス性下痢)の一過性感染が確認されました

BVD(牛ウイルス性下痢)は BVD ウイルス (以下 BVDV) による感染症で、家畜伝染病予防法に規定される届出伝染病です。

BVDV に感染しても多くは一過性の下痢や呼吸器症状を呈して回復しますが、妊娠牛が感染した場合は胎齢により流産、異常産を起こす他、**持続感染牛(PI 牛)**を娩出します。特に PI 牛は致死率が高い粘膜病を発症するだけでなく、生涯 BVDV を排出し続け**牛群の汚染源**となるため、大きな経済損失をもたらします。



これまでのバルク乳検査で BVDV 遺伝子検査陽性となり、PI 牛の発見に至った事例があります。県下で散発的に一過性の感染が起こり、**PI 牛が娩出されていることとなります。**

農場でできる対策

- ・ワクチン接種 (妊娠牛には不活化ワクチン接種) で感染を予防しましょう。詳細は担当獣医師または家畜保健衛生所までご相談ください。
- ・導入牛の検査・新生子牛 (導入牛の産子) の検査をし、PI 牛を農場に入れないようにしましょう

問い合わせ先 : 伊那家畜保健衛生所 防疫課 [Tel:0265-72-2782](tel:0265-72-2782)